

# 【汚染水対策】 建屋滞留水処理の進捗状況

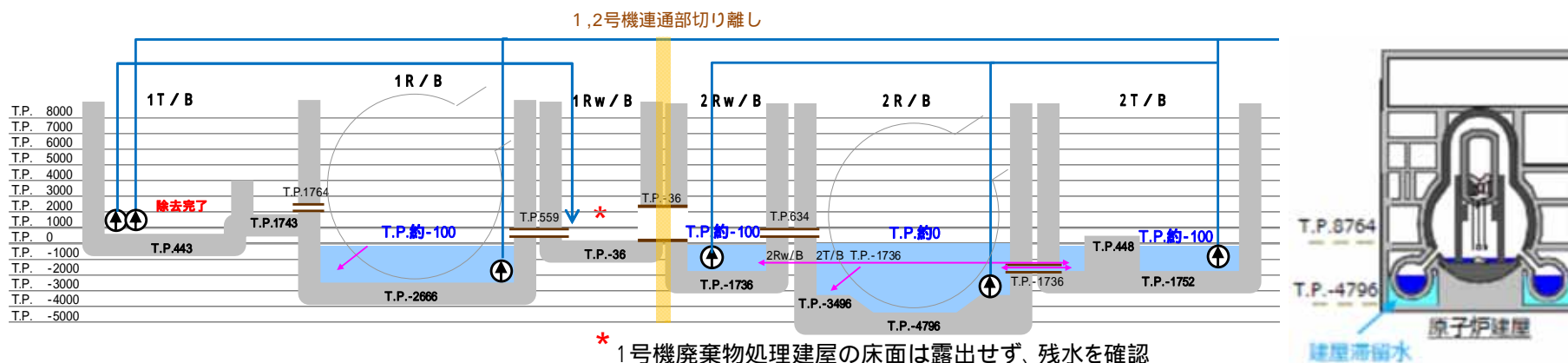
～ 1,2号機間および3,4号機間の連通部切り離しを達成 ～

< 参 考 資 料 >  
 2 0 1 8 年 9 月 1 3 日  
 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー

- 建屋滞留水については、建屋外への漏えいを防ぐため、周辺地下水位より建屋滞留水の水位が低くなるよう水位を管理しています。中長期ロードマップでは、2020年の滞留水処理完了に向けて、原子炉建屋から他の建屋への滞留水が流出しない状況を構築するため、建屋内水位を順次引き下げ、2018年内に1,2号機間および3,4号機間の連通部を切り離すことを目指すとしていました。
- 建屋滞留水水位を順次低下させてきた中で、1号機側、2号機側の滞留水水位が1号機廃棄物処理建屋の床面（T.P.-36）を下回り、安定的に水位を制御できていることを確認したことから、本日（9月13日）、1,2号機間の連通部について切り離し「達成」と判断しました。
- 3,4号機間の連通部の切り離しは、2017年12月の水位低下時（タービン建屋最下階中間部の床面露出時）に達成しており、今回をもって、中長期ロードマップにおいて2018年内の目標としていた「1,2号機間および3,4号機間の滞留水連通部の切り離し」を達成しました。

循環注水を行っている1～3号機原子炉建屋以外の建屋の最下階床面露出

## 【1-2号機の建屋床面レベル、建屋間連通部及び滞留水の水位（2018.9.13現在）】



T/B :タービン建屋, R/B:原子炉建屋, Rw/B:廃棄物処理建屋, T.P.:東京湾平均海面